

## 院内看護研究発表会

### 禁煙外来の現状報告

#### 外来

##### 【はじめに】

平成18年4月から禁煙治療が保険適用となり、当院でも平成23年8月から禁煙外来を開始した。開始から1年が経過し内容を見直すため、禁煙外来受診者の初診問診票と外来受診者の状況をカルテにて調査した。当院での禁煙外来の流れと、その結果をここに報告する。

##### 【対象】

平成23年8月～平成24年6月に当院を受診した禁煙外来患者  
禁煙外来受診者71名(男性115名・女性118名)  
平均年齢44.7歳(男性平均1146.7歳・女性平均1138.8歳)

##### 【方法】

禁煙外来の初診問診票を項目に従い集計した。

禁煙外来の標準治療を受けた回数と成功率などを調査した。

##### 【結果】

禁煙治療は禁煙補助薬とカウンセリングを用いて12週間で5回の受診が必要である。禁煙状態の確認は、たばこの煙に含まれる有害物質の一酸化炭素を呼気一酸化炭素濃度測定器にて測定し確認した。受診回数は5回で12週間となっているが、途中、一酸化炭素測定器で禁煙が確認でき、医師の診断で禁煙成功と認められた者は途中で成功者とした。また、逆に5回の診察でも失敗したもの、診察の途中脱落したものも見られた。

禁煙治療の成功者42人、失敗者29人(禁煙成功率59%)。5回で成功19名、4回で成功13名、3回で成功8名、2回で成功4名、診察5回で失敗1名、4回で脱落2名、3回で脱落11名、2回で脱落7名、1回で脱落8名)

##### 【考察】

禁煙外来の成功率は約6割であ

った。禁煙の「成功」とは禁煙継続1年後を意味する調査も多い。そのため、当院の禁煙患者の状況も今後継続して見守っていく必要がある。

禁煙の脱落者についてはチャンピックスの副作用によるものも認められたが、その点については聞き取りと対処まで進めることが出来なかつたため、次回の課題とする。



肩腱板手術における看護技術の共通理解

#### 4階病棟

##### 【はじめに】

当院では平成24年4月より関節鏡視下腱板修復術(以下ARRC

と略す)が整形外科医師2名によって施行されている。

ARRC術はオープン手術に比べて手術侵襲や術後疼痛も少なく平均在院日数の大幅な短縮が予想される。ARRC術を施行するにあたって断裂、損傷の状態により異なるが再断裂しないように外転位、軽度外旋位を保持する必要があるため、術後3～6週間の装具装着を行っている。初めての装具装着により患者の不安もみられ、リハビリチームと共に看護師の指導が療養生活において重要な位置を占める。

看護師間の教育を充実し、自信をもって患者指導ができるようになるためアンケート調査を行い検討した。

##### 【研究目的】

1. 看護師がARRC術後の患者指導についての疑問点、患者指導について困った点を明確にする。  
2. 統一された患者指導を行うことができるようにマニュアル化する。(看護師の虎の巻)

##### 【研究方法】

1. 研究期間：平成24年4月～8月  
2. 研究対象：4階病棟所属の看護師19名

3. 研究方法：自記式質問紙調査  
4. 調査内容：①看護師が患者指導に自信があるか？②入院生活援助において困った点質問されて困ったこと。

5. 倫理的配慮：調査実施に際しては調査対象者への調査目的の説明を行い協力の同意署名を得た。

##### 【結果】

今回病棟看護師にアンケート調査を実施し、4月から8月までに看護師がARRC術後の患者と関わり疑問に思ったこと、患者指導に不安に思ったことを一問一答形式で応答した。虎の巻1質疑応答集を作成し、以前医師から提供された資料に術式や術後の生活、リハビリについて詳細に記された資料の巻末にファイリングし追加した。

##### 【考察】

問題点を明確化し、文章に表記し「可視化」することにより、知識、指導内容の統一を図ることで質の高い看護が提供できると考えられる。看護師が正しい知識を持つこと、適切な指導ができること、患者が意欲的にリハビリに取り組むことができるように環境調整、日常生活指導をすることが早期の退院につながることに

なる。病棟看護師の役割として、篠田らによると「早期から退院後の生活を見据えた関わりをし、適切な情報と知識を提供すること」と述べている。入院当初から環境調整・日常生活指導を行うことが有用と思われる。

##### 【まとめ】

漠然と業務をこなすだけでなく、患者と関わりながら疑問点、改善点を見つけ出してスタッフ間で解決することが必要と考えられる。

問題点を明確に解決して知識の統一を行うことで、看護師が自信を持って患者指導に取り組むことができるようにする。

またこのファイルを活用することにより病棟異動等や新人スタッフのオリエンテーションツールとして活用することができる。



# クリーン作戦

良い天候にも恵まれ、気持ちよくクリーン作戦を終えました。  
 病院の敷地内は、想像以上に雑草が生い茂っていました。実家の庭掃除もあまり手伝ったことがない私にとって、本格的に草取りをするのは久しぶりでした。正門あたりから草取りを始めましたが、最初はごちこなかった作業もいつの間にかどんどん進んでいました。集中し始めると、時間はあっという間に過ぎていました。そして、作業をするにつれ少しずつ楽しくなっていたような気がします。気が付くとあんなに生い茂っていた雑草もなくなっていました。院内にいと気が付きませんが、病院というのはこんなに広がったんだと改めて感じました。  
 9月とはいっても、まだまだ暑くて大変でしたが、職員のみなさんと一緒に、少しでも病院の敷地内をきれいにすることが出来てよかったです。

医事係



今月は、約 1, 000KWh の削減となりました。

先月まで 2 ヶ月連続で増加していた電気量ですが、再び減少したことは職員一人一人が節電にご協力していただいた成果だと感じています。

昨年の電気使用量から削減するのはなかなか難しいですが、日ごろの節電に心がけいただくようなお一層のご協力をよろしくお願ひします。

## 月の電気使用量

昨年の電気使用量

106, 524KWh

今年の電気使用量

105, 600KWh

924KWh の減少

## 〜まごころ放送〜

皆さん、昨夜はめくくのお休みなりましたか。  
 私は、年子の子供がいるのですが去年は、お兄ちゃん受験が済んでほっと一安心したと思ったら、あっという間に弟の就職試験の日が近づいて来ました。  
 就職試験の日は、台風が近づいている中、息子を一人で行かせてしまい一人で寂しい思いをしていなか不安でたまりませんでした。

でも、そう思っていたのは親の私だけで子供は「ちゃんと自分が行く先まで一人でも大丈夫。もう大人なんだから自分の事は自分でしないとこれからは。」と言われ、ちょっと寂しい気持ちにもなりました。

ある日、10日くらいたった日の出来事です。遅出の仕事が終わり、車で家に帰ろうとした時、ふと携帯をみると息子から「お母さん」一番に報せたくて電話をしたけど、仕事で出られないと思うからメールで伝えるね。就職試験無事に合格しました(´▽`)/今まで心配ばかりかけてごめんなさい(+´+´)というメールがあり、思わず安心したのとほっとしたのでなぜか涙が止まらず、私は泣きながら車を運転して帰りました。

まだまだ子供と想っていたら、考え方や行動は親が考えている以上に大人になっていて、子供の成長って早いなぁと思います。でも、もうわずかな時間しか一緒に居ることが出来ないと思ってしまう気が持ちの方が募りますが、息子を送り出す時には、笑って送り出すと思います。

今日も一日まごころのこもったケアをスタッフ一同心がけ対応させていただきますので、よろしくお願ひ致します。



# 中対馬写真館



～キクイタダキ



～大坂壇山と穴ノ壇山



～彼岸花



～チョウゲンボウ

撮影: 貞光医師

